

## 黒大豆エダマメ「ひかり姫<sup>®</sup>」の収穫時期別の品質変化

兵庫県オリジナルのエダマメである「ひかり姫」の収穫時期別の<sup>さや</sup>莢の厚さと糖含有率を調査したところ、9月中旬以降増加し、10月下旬に最大となった。一定の品質となった10月10日頃から、子実が赤色に色づく10月27日までを収穫適期と判断した。

### 内 容

「ひかり姫」は「丹波黒」を親に持つ兵庫県オリジナルのエダマメ専用黒大豆である。ダイズモザイクウイルス抵抗性を持つため、莢に茶斑が少なく、食味に優れ、県下で生産を振興している。

現場からは「ひかり姫」の収穫期を把握するために、時期による莢の厚さや糖含有率の変化を明らかにすることが求められた。そこで、北部農業技術センターで6月14日に<sup>は</sup>播種した「ひかり姫」について、2022年9月から11月まで時期別にサンプリングし、品質を調査した。

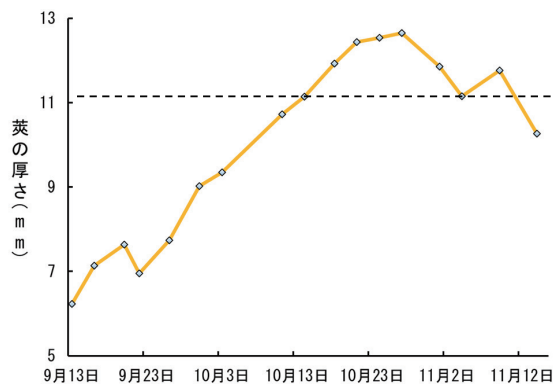


図1 収穫時期別の莢の厚さの変化

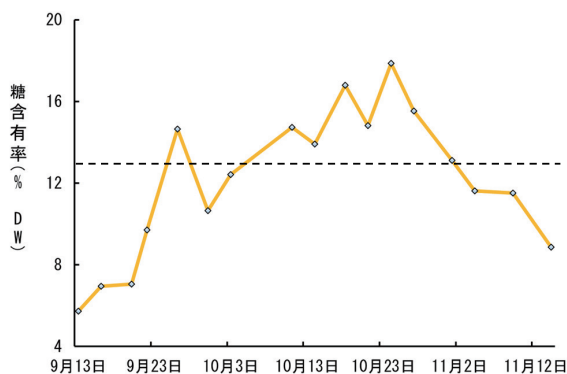


図2 収穫時期別の糖含有率の変化

その結果、莢の厚さは収穫が遅くなるにつれて増加し、10月27日に12.7mmと最大になったのち減少した(図1)。乾燥重量当りの糖含有率も収穫が遅くなるにつれて増加し、10月24日に最大となり、それ以降減少した(図2)。これらのことから、莢の厚さが11mm程度で糖含有率が13%以上となる10月10日以降を収穫適期と判断した。

子実色は10月21日から色づき始め、10月27日に赤く色づき、11月1日に濃い赤色となり、11月9日に黒色となった(写真)。子実が赤色に色づくまで莢の厚さと糖含有率は高く維持され、濃い赤色になって以降減少したことから、子実色の変化は収穫適期終わりの判定に活用できると考えられた。

### 今後の方針

今後は、早播き(5月下旬、6月上旬)した場合も含めて、収穫開始時期及び期間、年次変動を検討する。

坂田 秀朗(北部 農業・加工流通部)

(問い合わせ先 電話: 079-647-1230)



写真 収穫時期別の子実色の変化(月/日)